

# カスタマーデライトと 新市場創出に結びつく研究開発



R&D Activities for Pursuit of Customer  
Delight and Creation of New Market

常務取締役  
製品開発研究所長  
樫山 巖  
Iwao  
Momiyama

「塗料の研究」も今回で136回目の刊行となりました。皆様と共に21世紀を迎えられたことは大変な喜びであり、ひとえに日頃のご指導、ご支援の賜物と心から感謝致します。

すでに第130号から、インターネット・ホームページでの公開を開始していますが、さらに情報の質と利便性の向上を目指し、新世紀に相応しい技術情報誌としてご愛読頂けるよう努力して参ります。

わが国の90年代は、失われた10年と言われてきましたが、デジタル革命、ナノ世界の開拓、生命科学そして環境対応技術の飛躍的進歩など、新世紀へ向けての新しい基盤技術も着々と世に送り出された期間でもありました。関西ペイントにおいても、リサイクルPETを用いた樹脂合成技術、環境浄化塗料技術、廃塗料処理・リサイクルシステムなどの環境関連技術を始め、アメニティを提供する汚染防止塗料技術、CG・ITを駆使した色彩設計・色彩情報の発信・ビジネスモデルによる市場への新しいアプローチ方法など、新技術・手法が相次いで開発されました。こうした技術は、環境問題への積極対応とカスタマーデライトの徹底追求により生み出されたものでありますが、バブル経済崩壊後の困難な状況下において、21世紀の塗料産業の一端を拓く明るい話題であり、幾つかが本誌上でも紹介されました。

さて、近年急速に進んだ企業活動のグローバル化とIT社会への移行は、確実に市場構造の変革をもたらしつつありますが、それは、製品、システム、サービスのあらゆる面におい

て更なる顧客本位を促すものであり、21世紀の企業活動および研究開発のあり方を示唆するものと考えます。

弊社はこれまで、四つの研究所を配置し、基礎研究から応用、さらには色彩デザイン研究まで実施してきましたが、変貌する市場に対応すべく、従来にも増して柔軟かつスピーディな研究体制が必要であると認識しております。そのため、先に述べました新技術の活用を始め、創造的技術活動を一層強化し、カスタマーデライトと新市場の創出につながる製品及びシステムのタイムリーな開発を通してお客様のご要望にお応えして参ります。

21世紀は地球環境保全の時代とも言われていますが、弊社は製品安全を含め、塗料の設計・製造段階から物流、そして最終塗膜が形成されるまで、有害物ゼロエミッションをターゲットにレスポンスブル・ケア活動を行ってきました。さらに包括的な環境負荷の抑制を考慮してライフサイクル・アセスメントに基づく製品開発を進め、グリーンカンパニーを目指されるお客様と共に、環境適合化において世界最高水準の達成に努める所存です。

経済環境の変化と共に、物作りコンセプトも急速に変貌しつつあります。弊社はお客様自身のための塗料開発部門であり、塗装エンジニアリング部門でありたいと願い研究開発に取り組んでいます。その成果を有効にご活用頂けるよう本誌上でご紹介して参ります。皆様の一層のご愛顧とご指導を賜りたくお願い申し上げます。